

項目別評価

大項目1. 試験検査機能の充実

評価：A

小項目数	V	IV	III	II	I
2	0	0	2 (①②)	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・施設や組織の一元化に向けて、検査業務の統一化の着実な推進を図られたい。
- ・平成29年度に設置した精度管理室による内部監査などを実施し、検査の信頼性確保に取組んだ。試験検査機関として信頼性確保を図るとともに、重要な検査精度を保証できるよう、今後も内部精度管理に努められたい。

大項目2. 調査研究機能の充実

評価：A

小項目数	V	IV	III	II	I
2	0	1 (④)	1 (③)	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・施設一元化へ向け、森ノ宮・天王寺両センターにまたがる調査研究課題を集約したほか、調査研究審査委員会において、平成30年度から評価の仕組みを見直したことを評価する。
- ・競争的外部研究資金への応募件数は67件で数値目標（40件）を大きく上回ったことに加え、新規採択率が全国304研究機関中7位となるなど、積極的な応募に取り組んだ成果が出ている。引き続き競争的外部研究資金獲得への更なる取組みに期待する。
- ・受託研究・共同研究について、大安研の特性を活かし、社会還元できる研究の充実を図られたい。

大項目3. 研修及び感染症情報の収集等

評価：A

小項目数	V	IV	III	II	I
2	0	1 (⑤)	1 (⑥)	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・麻しんの発生状況の詳細な分析を行うとともに、機能強化を推進し、リスク評価を行い、情報発信したことを評価する。引き続き感染症等の情報収集・解析・提供の取組みを進められたい。
- ・報道機関に対する連絡会を9月以降毎月開催するなど、感染症情報の発信力強化に取り組んだことを評価する。今後は府民へのわかりやすさ・発信力を高めていくため、行政や民間企業等と連携した情報発信に取り組まれたい。

大項目4. 地方衛生研究所の広域連携及び特に拡充すべき機能

評価：A

小項目数	V	IV	III	II	I
4	0	1 (⑧)	3 (⑦⑨⑩)	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・平成29年度に人材確保には至らなかった疫学解析研究課において、疫学解析研究の専門家が少ない中で、実施体制の整備に取り組んだことを評価する。今後の疫学解析研究への取組みに期待する。
- ・専門医研修プログラムへの参画や、学生への研修を積極的に行うなど大学との連携を強化している。引き続き学術界との連携を図るとともに、産業界を対象とする相談機能の強化にも取り組まれたい。

大項目5. 業務運営の改善

評価：A

小項目数	V	IV	III	II	I
2	0	0	2 (⑪⑫)	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・引き続き、地方独立行政法人化のメリットを活かして、意思決定の迅速化を図り、自主的・機動的な法人運営に取り組まれたい。
- ・人事評価制度は試行実施に至らず、所内で案を検討するに留まっている。職員の職務能力及び勤務意欲の向上を図るため、早期に試行実施及び制度構築できるよう取り組まれたい。
- ・職員採用選考を行い、必要な人員を確保した。今後は更に地方独立行政法人化のメリットを活かし、採用時期や方法に拘わらず、優秀な人材確保に取り組まれたい。

大項目6. 財務その他業務運営に関する重要事項

評価：A

小項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3 (⑬⑭⑮)	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・病原体や化学物質を扱うことを考慮し、引き続き、事故の防止やコンプライアンスの徹底に努められたい。
- ・統合効果を発揮して研究機能の更なる強化を図るためにも、一元化施設の整備を早期に進める必要がある。スケジュールにできるだけ遅れが生じることのないよう、法人が一丸となって取組みを進められたい。

全体評価

「全体として年度計画及び中期計画のとおり進捗している。」

大項目1	試験検査機能の充実	A 計画どおり
大項目2	調査研究機能の充実	A 計画どおり
大項目3	研修及び感染症情報の収集等	A 計画どおり
大項目4	地方衛生研究所の広域連携及び特に拡充すべき機能	A 計画どおり
大項目5	業務運営の改善	A 計画どおり
大項目6	財務その他業務運営に関する重要事項	A 計画どおり

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・平成29年度評価の指摘事項に取り組む、疫学解析研究部門の人材確保や法定期限内の財務諸表の提出を行ったほか、競争的外部研究資金獲得へ向けた積極的な取組みや、麻しんのリスク評価を実施するなどの成果を挙げつつ、ホームページを通じた府民への情報発信、施設一元化へ向け、機器・備品の基本設計策定や検査業務や調査研究課題の集約化など、全体として計画を順調に実施した。今後、更なる機能強化の推進や、施設統合に向けた業務統一の取組みに期待するとともに、施設整備についてはスケジュールに遅れが生じないよう取組みを進められたい。